

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和 5 年度第 2 回高松市スポーツ推進審議会
開催日時	令和 5 年 9 月 2 8 日(木) 1 8 時 3 0 分～2 0 時 1 0 分
開催場所	高松市役所 1 1 階 1 1 0 会議室
議 題	次期高松市スポーツ推進計画(素案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	今井委員、大西委員、岡委員、笹崎委員、西山委員、藤尾委員、元木委員、山根委員、吉田委員(欠席 2 名)
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び 連絡先	スポーツ振興課 8 3 9 - 2 6 2 6

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

- 1 大西会長挨拶
- 2 事務局から、会議成立の報告後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開とすることを決定した。
- 3 議題
事務局から、「次期高松市スポーツ推進計画(素案)」について、説明した。
- 4 主な意見、質疑等については次のとおり
○次期高松市スポーツ推進計画(素案)について

【議長】

前回の審議会の内容をもとに、今回の資料が作成されている。その中で、御質問等はないか。

【A 委員】

大学・企業等との連携のところだが、具体的に連携というのは何を指すか。

【事務局】

高松市と包括連携協定を結んでいる企業・大学や、結んでいないけれども、連携しているところ全て含む。

【A 委員】

具体的にはこういったイベントをカウントしているか。2月に香川大学が高松スポーツ健康感謝祭に来られたがそういったイベントがカウントされているか。

【事務局】

カウントされている。1番最初に開催された感謝祭であれば、中村美里選手を企業と連携することで、無償で来ていただいている。そういったイベントを1件とカウントしている。

【A 委員】

目標数値のところは、令和 1 3 年度の一年間の数値か。

【事務局】

そのとおりである。

会議経過及び会議結果

【A 委員】

数値目標の指導者の研修受講者数は TASS の研修を指しているのか。

【事務局】

TASS の研修を含め、それ以外の指導者の研修も幅広く含める。

【A 委員】

そうであれば、現況値が 41 人と、かなり少ない。どういった研修をカウントしているのか。

【事務局】

高松市スポーツ協会の研修をカウントしている。民間企業と連携した研修を進めていくので、指導者の資質向上に向けて研修会数を増やしていく予定。

【B 委員】

県主催の研修会に高松市の指導者がたくさん参加しているが、そういった研修会はカウントされていないのか。

【事務局】

高松市主催の研修と考えている。

【B 委員】

TASS の指導者資格を持っている人は、3 年間のうちに高松市の研修会だけでなく、県の研修にも参加している。そういった研修会もカウントすべき。実際はもっといろいろな研修をしているのに、現況値の研修受講者数が少なすぎる。

【事務局】

目標数値の指導者の研修受講者について、進捗管理や数値目標項目として適切かどうかも含めてどういう考え方にするか再度検討し、次回の審議会でお答えする。

【C 委員】

私も現況値の研修受講者数が少ないと感じる。高松市が主催だけでなく、高松市や県が後援している研修も含めるべきだと考える。

【A 委員】

日々、たくさんの指導者への研修会が開催されているので、数値を拾うのが大変だと思うので、例えば TASS の登録者数を数値目標にすればわかりやすい。

【B 委員】

スポーツ指導者（TASS）と括弧書きにすればいい。

【議長】

これについては、検討事項とする。

【A 委員】

スポーツ指導者の資質向上及び研修の充実の取組内容の「外部指導者の活用」というのは誰を指すか。中学校部活動の地域移行のところにあるのはわかるが。

【事務局】

「スポーツ指導者の資質向上及び研修の充実」から「外部指導者の活用」を削除する。

【A 委員】

スポーツ推進委員について、人数が確保できていない理由は何か。

【D 委員】

地区体育協会からの推薦がなく、確保できていない。推薦がない背景としては、報酬支出の観点から、年間の最低取得単位（出席行事）数が決まっていて、単位が取得できず辞めた地区から推薦が出てこないことが多い。

【事務局】

再任の要件を緩和するなど、現在、推薦が出てきやすいように検討中である。

会議経過及び会議結果

【E委員】

「特色あるスポーツイベントの充実」で、「高松競輪場を拠点としたサイクルスポーツ活性化」とあるが、これは高松市の施設を活用するという意味合いが含まれるのか。ここだけ取組内容に競技名が出ているので確認したい。

【事務局】

競輪場の再整備に合わせて、競輪場をサイクルスポーツの拠点にするという整備方針がホームページにも公表されており、イベントが開催できる広いスペースが確保される予定のため、この文言を使用している。

【E委員】

高松市ヨットハーバーなど他の市有施設がある中で、あえて競輪場の名称だけ記載した時に、他のスポーツ団体がどのように感じるかを危惧して質問した。

【事務局】

文章の中に落とし込むなど訂正する。

【E委員】

続いて、先程のスポーツ指導者について、TASSだけが対象なのか、全部含めているのか、お伺いしたい。

【事務局】

中学校部活動の地域移行があるので、民間企業と連携して新しく指導者向けの研修を検討しており、TASSだけに限らず、学校の先生も含めて、幅広い意味でのスポーツ指導者と考えている。

【E委員】

ちなみに、パラスポーツ指導員は含まれるか。

【事務局】

メニューの追加はできる可能性がある。中学校部活動の地域移行の中で、障がい者への対応を含め、幅広く検討している。その研修を受けたから資格が取得できるようになるというものではない。

【E委員】

確認だが、スポーツ指導者というのは、日本スポーツ協会の登録しているスポーツ指導員さんと学校教員ということによろしいか。

【事務局】

そのように考えている。

【C委員】

スポーツ士派遣について、「新規」とあるが、すでに動き始めているのか。

【事務局】

昨年からの派遣が始まっている。来年度から本格事業化し、年々、派遣回数を増加できるよう進めている。

【C委員】

親子で参加できるイベントの充実について、今年度何か考えているイベントがあるか。「新規」と記載しているということは現在開催しているイベントから新規イベントなどを追加していくということか。

【事務局】

数値目標自体が今までにないため、「新規」と記載している。また、既存のイベントを充実させていくということも含む。

【D委員】

スポーツ教室の充実とあるが、年間どれくらいスポーツ教室が実施されているか。

会議経過及び会議結果

【議長】

高松市の総合体育館とその他のスポーツ施設で行っているスポーツ協会主催の教室は、高齢者ができる種目やダンスなど様々である。

【D委員】

イベントを地域で開催しても人が集まらないことが多い。どうしたら人が集まるか。

【事務局】

イベントに参加するターゲットを分析し、周知・啓発することが大事だと考える。

【B委員】

「指導者の育成」、「外部指導者の活用」、「スポーツ士の派遣」など、指導者の表現方法について、一般の人が見てもわかるように明確化する必要がある。

「スポーツ大会等を活用したシティプロモーション」の現況値の5件は何か。

【事務局】

トライアスロン、庵治マラソン、アゼリアソフトテニス、合宿の誘致が2件である。

【B委員】

合宿はどこが誘致しているのか。

【事務局】

高松市が誘致している。

【B委員】

地域密着型トップスポーツとの連携について、岡山県などに比べると、ファンやサポーターなど応援してくれる人がかなり少ない。お金の支援だけでなく、なぜ少ないのかを分析する必要がある。スポーツボランティアを活用することで、スポーツボランティアの人がファンになったりすることで、応援する人を増やす方法を考えていったら良いと思う。

【議長】

地域密着型トップスポーツチームには、香川銀行のハンドボールチームは入っていないのか。

【事務局】

入っていない。

【議長】

プロスポーツチーム連絡協議会に取組を充実するよう市から指導していただき、観戦者数の増加につなげるべきである。

【G委員】

「中学校部活動の地域移行」の数値目標がないが、これは8年間の間に新しくできるのか。

【事務局】

8年間の間に、教育委員会の方向性も決定するはずなので、中間見直しで数値目標を置く予定である。

【G委員】

前回のアンケートの結果報告の中で、スポーツ推進計画の認知度が低かったが、誰が見ても70%を目標に掲げているとわかるようなポスターを作成して周知していくのはどうか。

会議経過及び会議結果

【議長】

3、4年前にポスターを作成したが、効果がなかった。

【事務局】

次期計画の周知・啓発を充実させていく。

【H委員】

「パラスポーツを支える人材の育成」の具体的なアプローチについてはどこにも書かれていないが、指導者の資質向上に含まれる話になってくるのか。

【事務局】

大きく捉えるとそういうことになってくると思う。数値目標にも入っていないが、文章に入れていこうと考えている。

【H委員】

推進計画の数値目標にニュースポーツ・パラスポーツの振興に関するイベント件数が入っているが、障がい者が参加しなければ意味がない。障がい者も知的障害や身体障害など多様なので、障がい者が参加しやすい環境づくりのために、パラスポーツを支える人材が必要であり、目標値についても、障がい者の方も一緒に参加できているのかどうかということも含めてほしい。事業所、作業所、施設などとの連携したイベントを行えば、障がいへの理解や、障がい者のスポーツ実施というところにも繋がる。施設と連携したイベントなど今後、考えていってほしい。

【事務局】

パラスポーツ体験会を実施する中で、障がいがある方の顔ぶれが毎回同じことなど気になっている。今後は、こちらから施設などに出向いて体験会を実施するなど、安心して体験会に参加してもらえるような環境作りに取り組みたい。

【I委員】

先日参加したカローリング交流大会では、障がいの有無に関わらず同じ種目で、競技を行っていた。参加者の一人が「カローリングを好きになりました。」と言っていた。数値目標のために運動をする人はいないので、カローリングに限らず、声掛けをしていって参加してもらい、楽しかったと思ってもらえたら次回も参加してくれる。地域でスポーツ推進委員や体協の会長などが障がい者がもっと参加できるようなニュースポーツなどを取り入れて、ルールを工夫するなど、ルール作りから人間作りもして、参加者を増やしていけるような空気づくりが必要である。

【議長】

渡邊雄太選手のパブリックビューイングが私の知る限りでは、香川県では行われていなかった。香川県は冷たい県という印象を与えてしまったので、私たちが今後変えていかなければならない。

【D委員】

アーバンスポーツができる場所はあるのか。

【事務局】

競輪場の再整備に期待している。

【E委員】

今後、施設の改築の予定があれば、障がい者や LGBTQ の人が使用しやすいような更衣室の設置をお願いしたい。

会議経過及び会議結果

【議長】

他にないようであれば、事務局から連絡事項を周知してください。

【事務局】

次回審議会は10月下旬に予定しており、案内文を配布する予定である。

【議長】

9月になり、時間的な余裕がないため、高松のスポーツイベントについての課題・問題点などを、私がお願いした委員で会議させてもらい、それを審議会の意見としてスポーツ振興課へ報告させてもらうので構わないか。

【委員一同】

異議なし。

6 大西会長（議長）閉会宣言

全ての議事が終了したことを確認し、大西会長（議長）が閉会を宣言し、閉会した。